

協働学習 児童生徒発表型

実践タイトル 電子黒板を利用したグループ学習の成果共有

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

電子黒板

・問題を提示するだけでなく、生徒の発表に活用することで、グループ学習の成果共有を効果的に行う。

静止画
(テキストと同一の画像)

・電子黒板に提示した画像に、書き込みながら発表させることで、視覚的な把握と理解の深化を図る。

参考にしてほしいポイント

- ・評論文の読み取りに生徒のグループ活動を取り入れ、互いに読み取ったことや考えたことの根拠を示しながら意見交換をさせることによって、文章の構成や展開についての思考を深めさせる。
- ・各グループの代表生徒に、グループで導き出したことを、その根拠とともに電子黒板へ書き込ませながら発表させることにより、重要な部分を視覚的に理解させるなど、学習成果の共有をより効果的に行う。
- ・電子黒板に書き込んだ内容を保存する機能を用いて、各グループの考えを比較対照しながら発表させることにより、ICT機器を活用しながら論理的に説明する力を育成することができる。
- ・電子黒板に文字を書き込む際に、後方からでも見えるように、大きな字を書かせるよう注意する。

本時の展開(主な学習活動)

学習の流れ(分)	主な学習活動	ICT機器・教材、コンテンツ等
導入 0 15	・各自、課題について考えさせる。その際、考えの根拠となる文章等を明確にしておくよう指示する。	・電子黒板、静止画 (写真1)
展開 15 40	・グループに分かれ、各自の考えとその根拠について意見交換を行うことで、グループ内の意見をまとめさせる。 ・各グループの代表生徒に、グループで導き出した内容を、その根拠とともに電子黒板に提示したテキストに書き込んだり、他グループの解答と比較しながら発表させる。	・電子黒板、静止画 (写真2)
まとめ 40 45	・各グループの発表内容を比較しながら、各自の考えとその根拠について深め、広げる。	・電子黒板、静止画 (写真3)



写真1：各自で課題について考える



写真2：グループで考えやその根拠について意見交換を行い、発表に備える

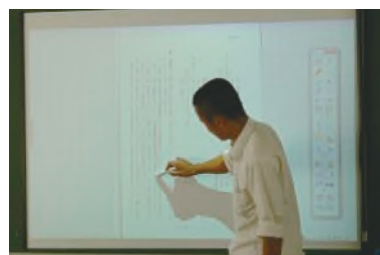


写真3：電子黒板に考えとその根拠を書き込みながら発表させる

ICT活用への児童生徒の反応等

- ・各グループ代表の生徒が電子黒板に書き込んだことを基に発表を行うことにより、考えのポイントや根拠を分かりやすく説明することができた。
- ・各グループの考えを比較対照することにより、読み取りをより深めることができた。
- ・生徒の意識をスクリーンに集中させることにより、発表が効率的になるとともに、ICTの「訴求力」の大きさを実感することができた。

活用効果

評価の観点

・読む能力

具体的変容

・学習成果の共有が円滑に行えたことで、その後の評論文の読み取りの際に、生徒が考えの根拠を意識して取り組むようになった。

実践の手応え

- ・授業後、生徒が違いの考えについて意見を述べる様子が見られ、学習意欲の向上につながったと実感できた。